

やまとじ かす
大和路に微かに音の雪しぐれ
つも おも
積りつ想う 秋田のおぼこ

令和七年八月十九日

大中臣正比呂



男鹿半島の冬は寒い。でも、春ともなれば弘前のトンネルを潜り花見酒と
なるのも嬉しい。

地元でなら、冬場はカンカネ洞に薫^{わら}しいて、二人熱燗、雪見酒である。
ワン、ワンワン、と犬のフジはうるさい。おまえ、酒でも飲みたいのか？
あ、「なまはげ」が来たのか！

